66　寒中お見舞い申し上げます

暖冬といわれている今冬ではありますが、朝夕の冷え込みは大変厳しく冷たい風を肌で感じます。昨日は大寒、一年で一番寒い時期に入りました。ここのところ昼間は日が差しているおかげで、日差しの暖かさを感じる中休み昼休みです。子どもたちはどちらの休み時間も元気に校庭を走ったり、ボールゲームをしたり、あるいは遊具で楽しんだりと、寒さに負けない活動ぶりです。「子どもは風の子」と昔から言われますが、校庭での子どもたちの様子からは、まさにこの言葉が実感できます。

昨年末に襲来したインフルエンザですが、おかげさまで今のところおさまっている状況で、罹患児童は 0 名となりました。これも保護者の皆様のご家庭での健康管理のおかげと感謝しております。

先日、元気な様子を見に休み時間に校庭に出ていると「校長先生は何をしているの。」と子どもから声をかけられました。「みんなの遊んでいる様子を見ているんだよ。」と答えると、「ふぅん、じゃぁ、いっぱいみていってね。」と言って、笑顔でその子は友達のほうに走っていきました。何でもない会話ではありましたが、寒風の中、日差しとともに、心も暖かくなりました。